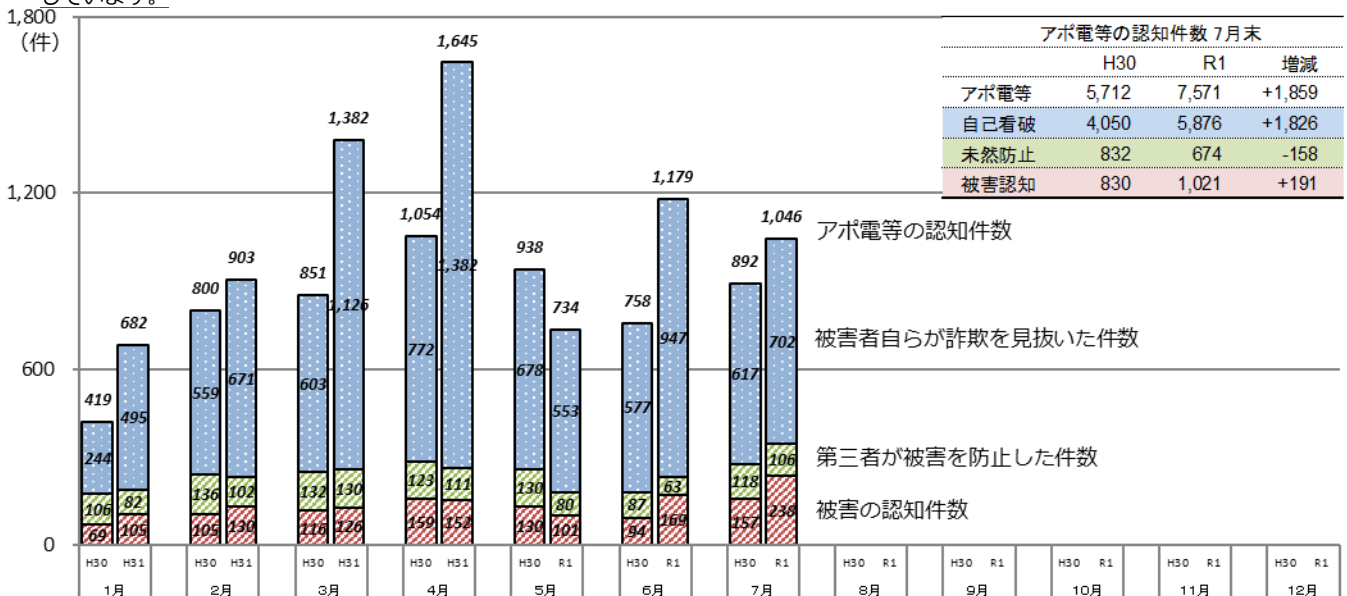




大阪府内の特殊詐欺認知状況【7月末】

アポ電等の認知件数

※ アポ電等とは、特殊詐欺（詐欺・恐喝及び窃盗）の犯人が発信したと思われる電話、メール（SMS）、葉書（封書）のこと。
今月より、警察庁が示した分類に倣い、従前の特殊詐欺は**特殊詐欺（詐欺・恐喝）**、従前のすり替え窃盗は**特殊詐欺（窃盗）**と表記しています。



7月のアポ電等の認知件数は、6月と比べて約11.3%（133件）減少し、1,046件でした。そのうち約67.1%（702件）は被害者自らが詐欺と気づき、約10.1%（106件）は家族・金融機関・コンビニなどの第三者が被害を防いでおり、被害として認知されたのは全体の約22.8%（238件）でした。7月末時点でのアポ電等の累計は、昨年と比べて1,859件増加しています。

特殊詐欺（詐欺・恐喝）の被害認知状況

【7月中に認知件数が多かった手口】

- 1 役所・銀行などを騙り、キャッシュカードをだまし取る手口（※4ヶ月連続で最多の手口）
- 2 役所・銀行などを騙り、「還付金の手続き」等と言って被害者にATMを操作させ、犯人の口座へお金を振り込ませる手口
- 3 「利用料金の確認が取れない」「本日中に連絡がない場合は法的手続に移行」とのショートメッセージを送りつけ、被害者に電子マネーを買わせる手口

特殊詐欺（詐欺・恐喝）の認知件数と被害金額

	H30 7月末	R1 7月末	増減
認知件数	757	820	+63
被害金額(千円)	1,999,706	1,305,239	-694,467

特殊詐欺（窃盗）の被害認知状況

【7月中に認知件数が多かった手口】

- 1 役所・銀行などを騙り、キャッシュカードをすり替えて盗む手口
- 2 警察官・金融庁などを騙り、キャッシュカードをすり替えて盗む手口
- 3 百貨店（家電量販店）・銀行協会などを騙り、キャッシュカードをすり替えて盗む手口

特殊詐欺（窃盗）の認知件数と被害金額

	H30 7月末	R1 7月末	増減
認知件数	73	201	+128
被害金額(千円)	92,344	243,354	+151,010

- 7月末現在、特殊詐欺（詐欺・恐喝）の認知件数は、昨年より「63件」増加しました。特殊詐欺（窃盗）の認知件数も「128件」増加しており、特殊詐欺全体では「191件」の増加となります。
- 5月以降、女性の受け子（被害者方を訪問してキャッシュカードを受け取る役の犯人）が増加傾向にあります。女性の受け子は、家を訪問しても被害者から警戒されにくく、今後も増える可能性がありますので、十分に気をつけていただくをお願いします。